

講義名	9013000401 美術Ⅰ 3年コースBクラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	安田 眞理子		

學習目標(到達目標)

- ・美術における表現活動の意義や目的を理解し、美術表現の基礎的技法を習得できている。
- ・素材や用具を活用し、幼児の創造的な表現を指導、支援できる。
- ・表現や鑑賞を通じて、自他の感じ方や考え方を尊重し、美術活動を楽しむ姿勢を身につけている。

授業概要(教育目的)

「保育現場の実態に合った美術表現の基礎的技法を、講義と演習を通じて学ぶ。講義と演習を通して、美術表現に関する見方、感じ方、考え方を豊かにし、表現と鑑賞の指導、支援の能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。」

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

課題の内容と出席状況、受講態度を考慮して、以下の割合で成績を評価する。

- ・授業への参加態度(20%)
- ・実習課題の提出(50%)
- ・実践発表(30%)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、評価基準を説明した後、返却します。
 期末試験の成績について疑問のある学生は、「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000500 日本国憲法 【ナンバリング：101003】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	高須 則行		

學習目標(到達目標)

- ② 基本的人権の尊重の精神およびその内容、平和の尊さを考え、民主政治の仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

法とは何か、その要点を説明した後に国家の基本法・最高法規としての憲法の持つ意義を考え、国家の統治体制の基礎を定める法としての憲法と、近代民主主義国家によってなくてはならない憲法について考察し、日本国憲法を通じて、日本の政治体制、基本的人権の保障について、基礎的理論から学び、具体的判例などを通じて現実の問題点を掘り起こしてきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

講義の中で、適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『憲法概説(再訂補訂版)』(司法協會)

資格との関連

幼稚園教諭二種必修資格、保育士資格選択科目

実務との関連

学生へのメッセージ

新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。女性天皇制・天皇の国事行為・天変地異と危機管理・日本を取り巻く国際社会の変化など、憲法改正論が巷を騒がせている。他方で国民の人権はどうなるのか是非関心を持ってニュースに接してほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000600 心理学 【ナンバリング：100004】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	杉山 幸子		

學習目標(到達目標)

以下の2点を到達目標とする。

1. 保育や幼児教育のために必要な心理学の基礎的な概念について説明することができる。

2. 心理学の基本的な研究方法を理解し、子ども理解に活用することができる。

知ることによって、保育や教育に関する心理学の専門科目を学ぶための土台となる力を養う。

授業概要(教育目的)

心理学というと、心理テストやカウンセリングを連想するかもしれないが、それらは心理学のごく一部に過ぎない。実際には人の心のはたらきを知るために、多様な角度からの研究が行われており、その中には一般的な心理学のイメージとはかなり違っているものもあるだろう。この授業では、心理学の基礎的な知識を学び、心理学的なものの方方を知ることによって、保育や教育に関する心理学の専門科目を学ぶための土台となる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験によって評価する。また、提出物(リアクションペーパー等)の状況を参考にする。

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーの結果は集約して次回にフィードバックする。試験の結果(点数・内容)について知りたい学生には個別に開示するので、研究室を訪問すること。定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に確認してほしい。

参考文献

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000901 英語Ⅰ 2年コース 【ナンバリング：101005】					
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵	

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

- ① 保育の現場で使われる英語の語彙、表現を使える。
- ② 毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

T神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著 Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

実務との関連

長年の国際交流活動、通訳としての経験を活かし、就職後に実践できる内容の授業を行う。

授業概要(教育目的)

IつのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどにより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、ListeningではdictationによるListening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

必要に応じて授業で紹介する。

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Introduction クラス内でパートナーを見つけ、自己紹介し合う。	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 1 What's your name? I ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 1 What's your name? II ④Practice 6 (School Supplies) ⑤Practice 5 (Pair Work) ⑥Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 2 Where are you from? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3 ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 2 Where are you from? II ①Practice 6 (School Supplies) ②Practice 4 (Pair Work) ③Practice 5 (Find Someone Who) ④Culture Note ⑤Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 3 Good morning! I ①Speaking/Dialogue 1,2,3 ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 3 Good morning! II ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 3 Good morning! III ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Interview with a Guest Teacher クラス内で自分と共通の背景の人を会話を通して複数人探し出し、互いに会話をする。 また外部講師に英語で質問し、自分も質問を受ける。	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 4 Are you OK? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3 ②Key Words: Symptoms ③Practice 1 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 4 Are you OK? II ④ ⑤Practice 2 (Symptoms) ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 4 Are you OK? II ④ ⑤Practice 2 (Symptoms) ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 5 What are you doing? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3 ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 5 What are you doing? II ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

講義名	9013001001 英語Ⅱ 3年コース 【ナンバリング：101006】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

- ②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著 Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

実務との関連

長年の国際交流活動、通訳としての経験を活かし、就職後に実践できる内容の授業を行う。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどにより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、ListeningではdictationによるListening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。
また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法 実践編AB, APRICOT

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともコミュニケーションがとれたのにと」いった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児に使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 8 Do's and don'ts II ①Practice 6 (Name Activity) ②Practice 7 (Writing) ③Practice 8 (Fill the Rules) ④Textbook English vs. Real English ⑤Practice 10 (Imperative Verbs) ⑥Review of Unit 1 to 8	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	①Review of 1 to 8 を今一度復習し、前期の学習範囲の内容が身に着いたか確認する。
2	2. Unit 9 Let's eat lunch I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Let's learn about "let") ③Practice 1 (Translation) ④Practice 2 (Listening) ⑤Grammar 2 (Different usages of "let") ⑥Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
3	3. Unit 9 Let's eat lunch II ①Practice 4 (Fill in the Blanks) ②Practice 5 (Fill in the Blanks) ③Practice 6 (Writing) ④Practice 7 (Scrambled Sentences) ⑤Practice 8 (Role Play)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
4	4. Unit 10 What do you want to do? I ①Speaking Dialogue 1, 2) ②Culture Note: Playing with friends ③Grammar (want/ wants to) ④Practice 1 (Writing) ⑤Practice 2 (Fair Work) ⑥Practice 3 (Writing) ⑦Practice 4 (Fair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
5	5. Unit 10 What do you want to do? II ①Practice 5 (Gesture Game) ②Practice 6 (Opposites) ③Practice 7 (Choose the Best Sentences) ④Textbook English vs. Real English (Reaction Sounds Words, and Expressions) ⑤Textbook English vs. Real English (Exclamatory Sentence)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
6	6. Unit 11 What do you have to do? I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Fair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
7	7. Unit 11 What do you have to do? II ①Practice 5 (Using Modals) ②Practice 6 (Group Work) ③Practice 7 (Running Dictation) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Fair Work) ⑥Practice 10 (Fair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
8	8. Unit 12 I need go potty I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (What are the children doing?) ⑤Practice 3 (Fair Work) ⑥Practice 4 (Writing) ⑦Grammar 2 ("Can/Could" Used for Requests)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
9	9. Unit 12 I need go potty II ①Practice 5 (Group Work) ②Practice 6 (Complete the Sentences) ③Practice 7 (Listening) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Translation) ⑥Practice 10 (Group Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
10	10. Unit 13 Good job! I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Past Tense 1) ③Practice 1 (Giving a Compliment) ④Practice 2 (Past Tense) ⑤Practice 3 (Complete the Conversation) ⑥Practice 4 (Questions in Past Tense) ⑦Practice 5 (Complete the Conversation)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
11	11. Unit 13 Good job! II ①Practice 6 (Matching) ②Practice 7 (Listening) ③Practice 8 (What did they do?) ④Practice 9 (Fair Work) ⑤Practice 10 (Rewrite the Dialogue)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
12	12. Unit 14 Injures an emergencies I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Key Words (Parts of the Body) ③Practice 1 (How much do you remember?) ④Practice 2 (Questions About the Body) ⑤Practice 3 (Parts of the Body Bingo) ⑥Key Words (Injuries) ⑦Grammar (Past Present 2) ⑧Practice 4 (Verbs)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
13	13. Unit 14 Injures an emergencies II ①Practice 5 (Word Practice) ②Practice 6 (Listening) ③Practice 7 (Role Play) ④Practice 8 (Message Book)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
14	14. Unit 15 We're going to go outside I ①Speaking Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Future Tense 1) ③Practice 1 (Listening) ④Grammar (Future Tense 2)) ⑤Practice 2 (Future Tense) ⑥Practice 3 (Asking About Future Plans) ⑦Practice 4 (Fill in the Blanks) ⑧Grammar 3 (Present Continuous Used for the Future) ⑨Practice 5 (Talking About the Future with "ing") ⑩Practice 6 (Writing) ⑪Practice 7 (Find Someone Who)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
15	15. Unit 15 Review and appendix ①Review of Unit 9~15 ①Practice 1 (Listening) ②Practice 2 (Message to a Parent) ③Practice 3 (Feelings) ④Practice 4 (Arts and crafts) ⑤Appendix 1 ⑥Appendix 2 ⑦Appendix 3 ⑧Appendix 4 ⑨Appendix 5	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。

講義名	9013001300 社会福祉 【ナンバリング：202004】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、現代社会における社会福祉の意義や歴史、制度や実施体系等について理解する。また、社会福祉の動向や今後の課題について理解することを目的とする。

- ・社会福祉の意義と歴史的変遷について説明できる。
- ・社会福祉の制度や実施体系について説明できる。
- ・社会福祉の動向と課題について説明できる。

授業概要(教育目的)

社会福祉の意義や歴史的変遷、そして、保育者にとって必要な社会福祉の法律や福祉を支える機関についての基礎的知識を習得し、現代の求める福祉とは何かについて理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 社会福祉(ミネルヴァ)石田慎二/山縣文治 編

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保育士は福祉分野の専門職ですので、社会福祉について学んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013001301 社会福祉 (再履修) 【ナンバリング：202004】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

本科目では、現代社会における社会福祉の意義や歴史、制度や実施体系等について理解する。また、社会福祉の動向や今後の課題について理解することを目的とする。

- ・社会福祉の意義と歴史的変遷について説明できる。
- ・社会福祉の制度や実施体系について説明できる。
- ・社会福祉の動向と課題について説明できる。

授業概要(教育目的)

社会福祉の意義や歴史的変遷、そして、保育者にとって必要な社会福祉の法律や福祉を支える機関についての基礎的知識を習得し、現代の求める福祉とは何かについて理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 社会福祉(ミネルヴァ)石田慎二/山縣文治 編

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保育士は福祉分野の専門職ですので、社会福祉について学んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013002900 保育実習ⅠA 【ナンバリング：202046】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	野口 和也		

學習目標(到達目標)

本科目は、保育士の資格取得を目指すにあたって、既習の教科の内容を踏まえて保育所での現場実習を経験することにより、知識や技術の修得を深めるとともに、保育者の業務や職業倫理について具体的に学ぶことを目的とする。到達目標は以下の5点である。

①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解し、説明することができる

②観察や子どもとの関わりを通して子ども理解を深め、保育に役立たせる

③これまで学んできたことを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に修得する。

④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について理解し、実習日誌等に適切に記載できるようになる。

⑤職業倫理に基づいた保育者の業務を学び、行動できるようになる

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

保育施設からの実習評価および実習日誌を基に評価する。
「保育実習指導Ⅰ」の講義に合格できない場合には、実習単位は不合格となる。

授業概要(教育目的)

近年、子どもを取り巻く生活環境は大きく変遷し、保護者のニーズに対する意識も変化してきている。それに伴い、保育の社会的ニーズでは複雑化・多様化し、保育士に対する期待は増大している。したがって、保育士より専門化された知識や技術・身体身につけることが求められ、さらには人間性や資質までも問われることとなっている。そのため、本科目では、そうした保育の現場を体験することにより、保護士の職能や役割、保育士の職務や専門性、地域福祉等について、講義・学んだものを発展させてより深く理解することを通して、これらの自身の課題を見出し、真摯に受け止める学びの姿勢を養い、めづる。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013003200 保育実習Ⅲ 【ナンバリング：200051】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

保育実習1B(施設)において学修してきた体験を生かし、自己のレベルアップを目指し広い知識と技術を習得するために履修されるものである。

1. 児童福祉施設等(保育所以外)等の役割や機能について説明することができる。
2. 保育士の業務内容や職業倫理を意識しながら実践に結び付けることができる。
3. 子ども(利用者)一人ひとりの特性を踏まえ、関係を築きながら保育士として適切な支援(職員の指導の下)を行うことができる。
4. 子ども(利用者)の状況に応じた計画の立案とその計画に基づいた実践を行うことができる。
5. 家庭・地域・学校・生活・施設にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深めるとともに、保護者支援や家庭支援のための知識、技術、判断力をも身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

出勤状況、勤務態度、実習日誌の内容、実習評価(実習施設及び巡回担当教員)等から総合的に評価する。

講義時使用テキスト

実習の手引き

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013003300 保育実習指導Ⅱ 【ナンバリング：200050】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	野口 和也		

學習目標(到達目標)

既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、実習に向けて保育実践力をより強化することを目的とする。

到達目標は以下の4点である。

1. 明確な視点をもって観察・記録し、考察することができる。
2. 適切な形式で保育計画を作成し、実践に臨むことができる。
3. 保育士の業務や職業倫理について説明することができる。
4. 実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、自身の課題を具体的に述べることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

平常点(授業態度)と課題(提出状況、内容)によって評価する。

講義時使用テキスト

『実習の手引き』及び『実習関係提出書類』(学内配布)を使用する。毎時間必ず持参すること。

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

本科目は本学カリキュラムにおいて保育士資格取得のために必須としている「保育実習Ⅱ」(保育所)の事前および事後指導として行うものである。しかし、保育実習のⅠとⅡが単に同じ施設で実習といっただけでも、両者が連続して学びが進展することが期待できるように、保育実習指導のⅠとⅡも切り離されたものではない。本科目では保育実習指導Ⅰと合わせて、学生が実習を円滑に行い、保育士としての専門性と実践力を高めることを目指した指導を行う。

課題に対するフィードバック

提出された課題については、添削し、個別に指導をおこなう。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013003400 保育実習指導Ⅲ 【ナンバリング：200052】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目は、保育実習Ⅲの準備(事前学習)と事後学習のためのものである。保育実習Ⅲは、保育所以外の児童福祉施設等の実習であり、保育実習Ⅰを踏まえ、自己の課題や到達目標を明確にし、より専門的な視点に立って実習に取り組まなければならない。つまり保育実習を円滑に進めていくための知識、技術を習得し、学習内容・課題を明確にするとともに、実習態度を深化させるものとする必要がある。

1. 保育実習Ⅲの意義と目的を理解する。
2. 保育実習Ⅰと既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえ、自身の保育実践における改善点を明確にする。
4. 保育士の専門性と職業倫理に基づいた行動実践ができるよう、基本的な考え方を身につける。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業概要(教育目的)

保育実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を
 培うことを目的とする。また、振り返りを前提とした保育の具体的実践に
 ついて理解するとともに保育士の専門性の理解と専門的知識や技術の
 獲得を図るものとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

見学実習の態度、授業態度やレポート課題の内容、その他関係書類の提出状況等で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

『実習の手引き』を参照

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

なし

実務との関連

[illegible]

講義名	9013004600 教職概論 【ナンバリング：201008】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

以下の4点を到達目標とする。

1. 我が国における今日の保育・教育や教職の社会的意義を説明できる。
2. 保育・教育の動向を踏まえ、今日の保育士・保育教諭等に求められる役割を説明できる。
3. 保育士・保育教諭等の職務内容や課せられた服務上・身分上の義務を説明できる。
4. 保育所・幼稚園・こども園が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成する。

評価方法

定期試験および授業の取り組み、課題提出、課題発表等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

『教職論』 木山徹哉 太田光洋 編著 ミネルヴァ書房

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

高等学校教員として青森県内の学校に勤務した実務経験をもとに、教職について指導する。

授業概要(教育目的)

保育者・教員の職務の特質や意義について理解する。講義に加えて、現代の保育・教育現場の話題についてグループ討議やグループワークを行うことで、理解を深める。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト・レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『保育者論』 大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸 編著 ミネルヴァ書房

学生へのメッセージ

資格取得のための必修科目です。授業でのグループ討議や課題の意欲的な取り組みを期待します。

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献講義時使用テキスト

資格との関連	学生へのメッセージ
--------	-----------

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013006100 教育実習 【ナンバリング：201056】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

幼稚園教諭に求められる幼稚園の機能及び構造に関する知識、幼児教育の重要性や保育者として求められる人間性についての理解などを幼稚園での実習で深めることができる。

授業概要(教育目的)

幼稚園での現場実習を経験することにより、幼稚園の機能及び構造、幼児教育の重要性や保育者としての求められる人間性について理解することを目的としている。

実習において、幼児教育における内容や機能等を実践現場での体験を通して理解すると共に、既習教科全体の知識と技能を統合化しながら総合的に実践する応用力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

施設からの実習評価および実習日誌を基に評価する。

課題に対するフィードバック

実習園からの評価と自己評価、実習後の反省会(ゼミ・全体)、個別面談を通して、実習での課題を明確にする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013006200 教育実習学内指導 【ナンバリング：201057】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

実習がより実り豊かになることを目的とする
実習を円滑に進めていくために事前に必要な準備ができる
実習体験を深化できる
実習後に反省を行い学習内容・課題を明確化できる
実習後の適切な対応についての理解と実践ができる

授業概要(教育目的)

本科目は、本学カリキュラムにおいて幼稚園教諭二種免許状の必修科目であること、教育実習における事前指導及び事後指導と密接に関連し、必修科目である。従って本科目は幼稚園教諭二種免許状取得に必要と見做す。

実習は、幼稚園教諭二種免許取得を志望する学生が、短期大学で学んだ基礎的な理論・知識・技術を幼児教育の現場において実践して見ることができ、それまで培われた児童観や教育観等に基づき、情熱を持って子どもに接する機会でもある。すなわち、幼児教育における内容・機能等を実践現場での体験を通じて理解すると共に、応用の教科全体・知識・技能を総合化しながら総合的に実践する能力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等について学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

書類提出状況、レポート内容等で評価する。

課題に対するフィードバック

個別指導、全体指導を通して課題を明確にし、実習に備える。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013006201 教育実習学内指導 【ナンバリング：201057】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

実習がより実り豊かになることを目的とする
実習を円滑に進めていくために事前に必要な準備ができる
実習体験を深化できる
実習後に反省を行い学習内容・課題を明確化できる
実習後の適切な対応についての理解と実践ができる

授業概要(教育目的)

本科目は、本学カリキュラムにおいて幼稚園教諭二種免許状の必修科目であること、教育実習における事前指導及び事後指導と密接な関係に修得科目となる。従って本科目は幼稚園教諭二種免許状取得に必須科目である。

実習は、幼稚園教諭二種免許取得を志望する学生が、短期大学で学んだ基礎的な理論・知識・技術を幼児教育の現場において実践して見ることができ、それまで培われた児童観や教育観等に基づき、情熱を持って子どもに接する機会でもある。すなわち、幼児教育における内容・機能等を実践現場での体験を通じて理解すると共に、応用の教科全体・知識・技能を総合化しながら総合的に実践する能力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等について学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

書類提出状況、レポート内容等で評価する。

課題に対するフィードバック

個別指導、全体指導を通して課題を明確にし、実習に備える。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013006502 教職・保育実践演習 Bクラス 【ナンバリング：203053】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

以下の4点を科目の目的とする。

1. これまでの科目履修や実習を通しての学びを整理し、専門職として必要な事項を整理する。
2. 教職と保育の専門性、社会的責任、倫理観を理解する。
3. 教職と保育の現代的課題、問題解決のための科目横断的な学習能力と判断力を高める。
4. 実習の反省と残された課題をつなげ、教職と保育の実践力を高める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

提出物、発表内容、授業態度等によって総合的に評価する。3人の担当者の評価の平均を科目の評価とする。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

第1回～第5回について、公立幼稚園教諭などとして勤務してきた差波が、実務経験をもとに、保育者としてキャリアをどのように積み上げていくか、またその方法などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第11回～第15回は公立高校校長として勤務してきた三上が、実務経験をもち、教職や保育職の倫理観や使命感などについて、自身の経験を踏まえて講義する。

授業概要(教育目的)

3人の教員がオムニバスで担当する。授業の形態は講義、グループ討論、ロールプレイング、模擬保育などさまざまである。学生が主体的に演習課題に取り組むことで、学びを深めるとともに、自己課題を明確化し、卒業後の専門職者としての能力と態度を涵養する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文など)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

参考文献は授業中に紹介する。

学生へのメッセージ

[illegible]

講義名	9013007513 英語 I 3 年コース 【ナンバリング：101005】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵		

学習目標 (到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

- ① 保育の現場で使われる英語の語彙、表現を使える。
- ② 毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

T 神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著 Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

実務との関連

長年の国際交流活動、通訳としての経験を活かし、就職後に実践できる内容の授業を行う。

授業概要 (教育目的)

I つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどにより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、ListeningではdictationによるListening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

必要に応じて授業で紹介する。

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語 I」、「英語 II」で学び、より充実した実習にしましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Introduction クラス内でパートナーを見つけ、自己紹介し合う。	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 1 What's your name? I ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 1 What's your name? II ④Practice 6 (School Supplies) ⑤Practice 5 (Pair Work) ⑥Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 2 Where are you from? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 2 Where are you from? II ①Practice 6 (School Supplies) ②Practice 4 (Pair Work) ③Practice 5 (Find Someone Who) ④Culture Note ⑤Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 3 Good morning! I ①Speaking/Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 3 Good morning! II ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 3 Good morning! III ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Interview with a Guest Teacher クラス内で自分と共通の背景の人を会話を通して複数人探し出し、互いに会話をする。 また外部講師に英語で質問し、自分も質問を受ける。	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 4 Are you OK? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ③Practice 1 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 4 Are you OK? II ④ ⑤Practice 2 (Symptoms) ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 4 Are you OK? II ④ ⑤Practice 2 (Symptoms) ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 5 What are you doing? I ①Speaking/Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 5 What are you doing? II ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

講義名	9013007519 ピアノⅢ 3年コース						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらずに最後までに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぶ(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
共著 ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

保育士のための こどものうた名曲集150 (シンコーミュージック スコア編集部)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。
先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をしり出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007523 子どもの健康と安全 3年コースBクラス 【ナンバリング：202013】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	坂本 保子		

學習目標(到達目標)

1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境と援助について理解し実践できる。
2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について説明し実践できる。
3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について説明できる。
4. 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び管理について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かで安全な保育環境を構成することができる。

評価方法

グループワーク、定期試験や課題等により総合的に判断する。

講義時使用テキスト

鈴木美枝子(編著) これだけはおさえておきたい! 保育者のための
子どもの保健と安全 創成社

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

看護師の臨床経験を踏まえて教授する。

授業概要(教育目的)

本講義では子どもの特性及び発育・発達を助ける養護技術を学ぶとともに、子どもの健やかな発育・発達のための教育的関わり、子どもの安全を守るための物理的・人的環境への配慮、健康上の問題に適切に対応できる知識と技術、社会環境が子どもに及ぼす影響や健康被害などについて学ぶ。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)は添削しフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

グループワークには、積極的に参加してください。
遅刻はしないようにしてください。
他学生に迷惑がかかるような私語は、控えて欲しいです。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007524 子どもの健康と安全 2年コースBクラス 【ナンバリング：202013】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	坂本 保子		

學習目標(到達目標)

1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境と援助について理解し実践できる。
2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について説明し実践できる。
3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について説明できる。
4. 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全管理について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では子どもの特性及び発育・発達を助ける養護技術を学ぶとともに、子どもの健やかな発育・発達のための教育的関わり、子どもの安全を守るための物理的・人的環境への配慮、健康上の問題に適切に対応できる知識と技術、社会環境が子どもに及ぼす影響や健康被害などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かで安全な保育環境を構成することができる。

評価方法

グループワーク、定期試験や課題等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
課題(レポート)は添削してフィードバックををする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

鈴木美枝子(編著) これだけはおさえておきたい! 保育者のための
子どもの保健と安全 創成社

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

看護師の臨床経験を踏まえて教授する。

学生へのメッセージ

グループワークには、積極的に参加してください。
遅刻はしないようにしてください。
他学生に迷惑がかかるような私語は、控えて欲しいです。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007527 幼児と音楽表現 3年コース						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

保育現場における音楽表現の技能・技術を通して、領域「表現」の目的を理解し、子どもの表現力を育む事の出来る指導法を習得することを目標とする。

授業概要(教育目的)

子どもが感じたことや考えたことを主体的に取り組み、豊かな感性や表現する力を育めるよう支援していく方法を学ぶ。

また、身の回りの音や簡単なリズム楽器を使ったりしながら、既存の音楽の技能・技術にとらわれず、音楽表現方法の幅を広げることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

講義内容の理解、課題の取り組み及び提出物、グループワーク発表等総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

講義にて学修したことについて、都度振り返りシートに記入して提出とする。

参考文献

講義時使用テキスト

第2版-アクティブラーニングを取り入れた「子どもの発達と音楽表現」幼稚園教諭・保育士養成課程(学文社)
「うたって、つくって、あそぼう」(音楽之友社)
「保育者のための 手遊び 歌遊び60」(音楽之友社)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状
保育士資格

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007528 特別支援の理解 3年コースAクラス						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、障害のとりえ方、各障害の特性、障害児への支援方法について理解する。そして、保護者や家族への支援方法や家族や関係機関との連携・協働のあり方について理解する。

- ・障害の特性と障害児への支援方法について説明できる。
- ・保護者や家族への支援方法について説明できる。
- ・家庭や関係機関との連携・協働の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

障害児保育の理念、障害の特性、障害児や家族への支援方法について概説する。また、家庭や関係機関との連携・協働のあり方と障害児保育の現状と課題について語る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 障害児保育(萌文書林)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

障害について理解していきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007532 ピアノⅣ 3年コース						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分		対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

5才〜7才・ついでに幼稚園(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
 行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
 共著 トレミ楽譜出版社
 バイエル
 ブルクミュラー25の練習曲
 ユーゼフ・100番練習曲
 ユーゼフ・30番練習曲
 ソナチネ、ソナタ、シュベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートー
 ヴェン、その他。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007535 教職概論 3年コース 【ナンバリング：201008】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

以下の4点を到達目標とする。

1. 我が国における今日の保育・教育や教職の社会的意義を説明できる。

2. 保育・教育の動向を踏まえ、今日の保育士・保育教諭等に求められる役割を説明できる。

3. 保育士・保育教諭等の職務内容や課せられた服務上・身分上の義務を説明できる。

4. 保育所・幼稚園・こども園が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成する。

評価方法

定期試験および授業の取り組み、課題提出、課題発表等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

『教職論』 木山徹哉 太田光洋 編著 ミネルヴァ書房

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

高等学校教員として青森県内の学校に勤務した実務経験をもとに、教職について指導する。

授業概要(教育目的)

保育者・教員の職務の特質や意義について理解する。講義に加えて、現代の保育・教育現場の話題についてグループ討議やグループワークを行うことで、理解を深める。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト・レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『保育者論』 大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸 編著 ミネルヴァ書房

学生へのメッセージ

資格取得のための必修科目です。授業でのグループ討議や課題の意欲的な取り組みを期待します。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007537 保育内容「造形表現」の指導法 Bクラス						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	安田 眞理子		

學習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。

①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。

②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。

③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価、出席等)

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許狀 必修科目

保育士資格 必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。

幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なも

のとなる。

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

学生へのメッセージ

実制作と鑑賞の関係性が強いので目的意識を持って受講すること

課題制作に十分時間を取るようし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007539 児童文学Ⅰ						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

1. 幼児教育における領域「言葉」について、基本的理解ができる。
2. 幼児と一緒に楽しむ言語的活動や遊びを展開することができる。

授業概要(教育目的)

講義では、幼児期の言葉の発達についての特徴や、幼児期の言葉が遊びの中でどのように育まれているのかを、教育・保育実践を通して理解できるようにする。また、幼児が実際に生活中で触れる絵本や紙芝居などについても取り上げ、それをどのように教育・保育の中で展開すべきか、演習を通して自ら考えたり、意図的、計画的に幼児期の生活に計り入れられるような力を育成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

遅刻や居眠り、私語や携帯電話の使用などのふさわしくない受講態度について2割の配分、課題作成や課題の発表状況等によって4割の配分、試験またはレポートで4割の配分によって評価する。

課題に対するフィードバック

・本試験またはレポートの成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

講義時使用テキスト

幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説

資格との関連

実務との関連

幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、主に幼児教育の実践場面において、幼児の言葉についての理解や、その発達の実際について幼児の姿から学べるようにしたい。また、幼児期の子どもの「言葉の面白さ」や、自分なりに表現しようとする気持ち、またその感性についても具体的に共有できるようにする。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007614 ゼミナールⅠ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き』(八戸学院大学・八戸学院
大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007616 ゼミナールⅠ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き』(八戸学院大学・八戸学院
大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

・ゼミナールでは、丁寧な指導を行うために少人数(6名程度)のグループ(ゼミ)を構成して、常勤の専任教員を配置しています。少人数の授業の良さを活かすために、主体的・積極的に授業に取り組んでください。

・レポートの書き方を中心とする内容ですが、高校までに培った基礎力をさらに伸ばして、大学の学びで深められるアカデミックスキルを養うことを目標としています。レポートを完成させるまでの経過において学ぶことも、しっかりと復習して身につけてください。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007622 ゼミナールⅠ 鈴木ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	鈴木 康弘		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的にまなぶじゅぎょうです。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポートの成績)を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き』(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007623 ゼミナールⅠ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

1. 幅広い音楽の知識を身につけ、豊かな情操を培う。
2. 表現することの喜びを仲間と分かち合うことができる。
3. 伝統と文化を尊重し、道徳心を培う。

授業概要(教育目的)

1. 自らが活動へ積極的に関わりを持ち、協同/共感/思いやりの精神を学ぶ。
2. 様々な楽器でのアンサンブル活動を通し、保育士として必要とされる技能・技術の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術・技能を有し、音楽を通し子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

受講態度、表現発表内容等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

グループワークを見守りながら、講義の最後にコメントする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、現場で楽器の指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007625 ゼミナールⅠ 坂本ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	坂本 利枝子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き』(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007627 ゼミナールⅠ 三上ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法を主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き』(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

・ゼミナールⅠでは、丁寧な指導を行うために少人数(6名程度)のグループ(ゼミ)を構成して、常勤の専任教員を配置しています。少人数の授業の良さを活かすために、主体的・積極的に授業に取り組んでください。

・「レポートの書き方」を中心とする内容ですが、高校までに培った基礎力をさらに伸ばして、大学での学びを深められるアカデミックスキルを養うことを目標にしています。レポートを完成させるまでの経過において学ぶことも、しっかり復習して身につけていきましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007628 ゼミナールⅠ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き』(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

学生へのメッセージ

・「ゼミナール1」では、丁寧な指導を行うために少人数(6名程度)のグループ(ゼミ)を構成して、常勤の専任教員を配置しています。少人数の授業の良さを活かすために、主体的・積極的に授業に取り組んでください。

・「レポート」の書き方を中心とする内容ですが、高校までに培った基礎力をさらに伸ばして、大学での学びを深められるアカデミックススキルを養うことを目標としています。レポートを完成させるまでの経過において学ぶことも、しっかりと復習して身につけていきましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007629 ゼミナールⅠ 三浦ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

1. 読み聞かせの基本を理解し、自ら絵本の読み聞かせを行う。
2. 子どもの年齢、発達に応じた絵本の読み聞かせができる。
3. 読み聞かせのプログラム作りや手法を学べる。

授業概要(教育目的)

1. 子どもの感性や創造力を育む読み聞かせの意義や成り立ちを知り、様々な絵本に触れる。
2. 長く読まれている作品や話題の新作などを読み、人気や魅力を理解する。
3. 実習で使用する絵本を選択し、子どもへの効果的な読み聞かせについて研究する。
4. 年齢に合った読み聞かせのプログラムを作る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育実践の基盤となる教養、総合的な判断力及び豊かな人間性を身につけている。

評価方法

シラバスの実施状況、授業時の受講態度等の取り組み状況によって総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

読み聞かせは資格を要するものではないが、保育園、幼稚園、小学校等で日常的に行う子どもへの情操教育の一環であり、保育士や幼稚園教諭に必要なスキルである。

実務との関連

読み聞かせは、保育園、幼稚園、小学校等で日常的に行う子どもへの情操教育の一環であり、保育士や幼稚園教諭に必要なスキルである。

学生へのメッセージ

日頃より周囲の人間関係におけるコミュニケーションや絵本等に関心をもち、子どもに対してどう表現できるかを考える習慣を身につけてほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007714 ゼミナールⅡ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成し学生の前で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、子どもたちとの交流を通して学習したことを報告書にまとめ発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

授業計画表

[illegible]

[illegible]

講義名	9013007716 ゼミナールⅡ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

本ゼミでは、赤ちゃんを取り巻く音の世界について自らテーマを決め、読み、調べ探求をしていきます。
赤ちゃんの発達特性および生活理解を踏まえ、ベビーマッサージや沐浴などの基礎的ケア技術を安全に実践できる。また、わらべうたを用いた情緒的関わり方の基礎を身に付ける。

授業概要(教育目的)

生まれてからの1年間は、人間の一生で一番大きな成長をする時期です。子育て視点から、赤ちゃんの音楽環境について先人の知恵や方法などを主体的・能動的に学び、赤ちゃんについての学びを深めていくことを目標とします。

赤ちゃん学の基礎理論を学ぶとともに、ベビーマッサージや沐浴等の生活支援技術を実体験的に習得する。さらに、わらべうたを通した関わりを実践し、保育者としての基礎的実能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

授業参加・態度50%、実技評価(ベビーマッサージ・沐浴)50%

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

赤ちゃんへの関わりは経験を通して身につくものである。安心して取り組みながら、「触れる・声をかける」ことの大切さを体感してみましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007719 ゼミナールⅡ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007721 ゼミナールⅡ 本吉ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。

1. 幼児向け体操の創作、実践することができる
2. 子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミでは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面（屋内、屋外など）や道具（ボールや縄など）のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげる。また、幼児の体操を創作、習得することにより、表現力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。

体を動かすことが好きな人、運動あそびの専門性を高めたい人、苦手だからこそ頑張りたい人はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007722 ゼミナールⅡ 鈴木ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	鈴木 康弘		

學習目標(到達目標)

1. 子どもから大人まで、参加者が、安心して参加できるような話し合いのルールづくりやミーティングの雰囲気作りの意義を理解することができる。
2. 「子どものための哲学」や「哲学対話」に関する著作を読み解き、話し合うこと、学び合うこと、お互いを認め合うことの大切さを理解している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

報告やディスカッション、レポート課題を通じて総合的に評価します。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007723 ゼミナールⅡ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

1. リトミックについての理解
2. 幼児の発達に応じた指導の考察

授業概要(教育目的)

自らが活動へ積極的に参加し、研究を通し習得した技能を活かした指導展開ができることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識を有し、リズムを通して子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

研究の取り組み、及び講義内容の理解度等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

研究での課題について、都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、現場での指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007814 ゼミナールⅢ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007816 ゼミナールⅢ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

赤ちゃんの発達段階を踏まえ、わらべうたや関わりを実践的に展開できる。また、保育現場における観察・記録・振り返りを通して、自らの関わりを改善する力を身につける。

授業概要(教育目的)

セミⅡで修得した基礎的ケアおよび関わりを基盤として、保育園の赤ちゃんクラス訪問を中心に実践的学修を行う。実際の保育現場における観察・関わり・振り返りのサイクルを通して、発達理解および関係構築力を高める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

授業参加・協働性30%、記録・レポート30%、実践への取り組み40%

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実際の赤ちゃんとの関わりは、講義では得られない多くの学びをもたらします。観察すること、感じること、そして振り返ることを大切にしながら、自分なりの関わりを深めていきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007819 ゼミナールⅢ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007823 ゼミナールⅢ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

学習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
1. リトミックについての理解 2. 幼児の発達に応じた指導の考察	リトミックに対する自らの価値観を意識し、活動へ積極的に参加する。 及び、研究を通して習得した技能・技術を保育の現場で展開できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
研究への取り組み、活動内容等、総合的に評価する。	課題への取り組みについて、各自都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連	学生へのメッセージ
発達にに応じた保育の専門的知識と技術を有し、現場にてリミックスの指導展開が出来る。	

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007826 ゼミナールⅢ 三上ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

- ・絵本や幼年文学を楽しむとともに、読み聞かせをしたり、代表的な物語を朗読したりすることができる。
- ・子どもたちと文学の出会いをどのように作るか、考えることができる。

授業概要(教育目的)

さまざまな絵本や幼年文学に触れて、その楽しさを味わいつつ、子どもにとっての文学の意味を考えます。図書館などを利用して多くの作品に触れ、自分なりの子どもに手渡したい作品を見出す活動をしします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況や課題の提出によって、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

授業の取り組みやレポートの内容については、授業中にコメントして、対話的な授業になるように心がける。

参考文献

『絵本とは何か 起源から表現の可能性まで』松本 猛(岩波書店)

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

国語科教員としての経験をもとに、幼児期における絵本や紙芝居から享受するもの、幼年文学から児童文学への移行の重要性、小学校国語科教育との関わりについて、学生とともに探求する。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007827 ゼミナールⅢ 三浦ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

1. 研究を行うためのテーマを決め、それに沿った研究計画を立てることが出来る。
2. 研究テーマの文献を読み、その内容が理解できる。
3. 研究に必要な情報を適切な方法で検索・収集し、得た情報を整理しまとめることができる。
4. 研究を行った内容を取りまとめ、自らの言葉で表現・発表することができる。

授業概要(教育目的)

1. 子どもの保育や教育に関する知識を修得するとともに、業務において直面する課題を分析・研究する。
2. 保育分野における課題とその解決について、学習成果を元に改善方法を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育と教育実践の基盤となる教養と総合的な判断力及び豊かな人間性を有している。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況や課題への取り組みによって、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

授業の取り組みや議論の内容については、授業中にコメントするとともに、課題の評価を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

授業で随時紹介する。

講義時使用テキスト

なし。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

資格取得後の実際の運用に役立つ内容である。

実務との関連

保育所や幼稚園、小学校でのコミュニケーションにおいて、自己と子どもたちへの良い見本となれるようなスキル習得に繋げる手助けとした。

学生へのメッセージ

保育・教育実習や現場において、日常的なコミュニケーションや表現に役立つ学習となるため、日頃から様々なメディアを活用・検証して、子どもたちとの良い関係構築に繋げてほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007914 ゼミナールⅣ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007916 ゼミナールⅣ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

ゼミナールⅢで培った音楽的な成果を基に、実践的な音楽表現の創造が出来る。
五感を研ぎ澄まし、美しいものを美しいと感じ取り、演奏することの喜びを分かち合う事が出来る。

授業概要(教育目的)

演奏活動を通し、音の強弱のコントロール技術・技能を習得する。
積極的に関わり、協調・共感・思いやりの精神を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じプリントを配布する。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。メロディーを奏でるのもハーモニーを創り出すのも複数のリンガーによって行われます。一つの音楽目標に各自を調和させ、音楽表現の本質を学びましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007919 ゼミナールⅣ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつを試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007923 ゼミナールⅣ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

学習目標(到達目標) 1. エミール・ジャック＝ダルクローズの理念を考察する 2. リトミックを通し育まれる能力についての研究 3. 自身が考えるリトミックのあり方についての考察	授業概要(教育目的) 保育の現場において発達に応じたリトミック指導が展開できることを目的とする。
---	---

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識を有し、音楽を通し子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

研究への取り組み、講義内容の理解等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

研究における課題について、各自都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識を有し、発達に応じたリミックスの指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008100 海外事情 【ナンバリング：100007】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	グレゴリー・アンソニー		

學習目標(到達目標)

「海外事情」は国際理解教育の観点から、外国に一定期間滞在して、人的交流と語学研修等を通して、具体的かつ実践的な海外各国の異文化の事情等を学ぶことを目的とする。異文化や異国でのビジネス等に触れることにより、広い視野と積極性に基づく国際理解を身につけ説明できる。

授業概要(教育目的)

①<タイ>タイ国チェンマイ市の歴史や博物館、病院、福祉施設などの見学を通して、異文化を理解し、国際感覚を培うことを目的として実施する。

②<EP>学校法人光星学院が協定を結んでいるEP(イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン 株式会社)が提供する世界各地への語学留学プログラムに参加する。

* 注意事項

上記①～②の研修に参加する予定の学生は、あらかじめ「海外事情」を履修登録すること。また、研修参加後に「海外事情」と「英語コミュニケーション」の単位認定を希望する学生は、教務学生課において修了証等の写しとともに、「単位認定願」を必ず提出すること。

なお、参加費は実費で、費用に含まれるのは次の通りである。

1) 交通費(国内の移動費、航空運賃)と海外旅行傷害保険料

2) 英語研修費と諸活動費の一

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

海外事情に関する事前講義、現地における各種研修、帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等により、教員が必要に応じて受講や発表を決定しその内容で評価する。

課題に対するフィードバック

事前研修プログラム最中にプログラム担当者が口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

後日指定する。
団体行動を基本としたスケジュールを組んでいるので、その自覚と意欲
ある者の履修を求める。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008300 合唱Ⅱ 【ナンバリング：110012】						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

1. 合唱における基礎知識を修得する。
2. 発声のための身体機能を体现できる。
3. ハーモニーの重厚さを培い、オーケストラ化を図る。
4. 歌の内容を十分に理解し豊かな感性と集中力を養う。

授業概要(教育目的)

1. 発声における呼吸法・発音・音色の方向性を身につける。
2. 理論と実践の融合を図りながら、カトリシズムに則した品性を培う。
3. 合唱の喜びや意義を考えさせ、心豊かな楽しい演奏を表現する。
4. カトリシズムに則り、宗教音楽の精神性を柱とした合唱表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

- ・受講態度(合唱評価シート)、表現発表にて総合評価する。
- ・星の子シアター参加を必須とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

学歌、オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科編纂

資格との関連

卒業必修単位

実務との関連

学生へのメッセージ

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、美しいハーモニーづくりを通して、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけていきましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008500 美術Ⅱ 【ナンバリング：100014】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	安田 眞理子		

學習目標(到達目標)

絵画や彫刻の歴史的な成り立ちを理解した上で、自由でのびのびとした表現力を発揮できる。
また鑑賞において幼児をや児童を対象とした鑑賞教育の事例を知り、実施計画を立てられる。

授業概要(教育目的)

「美術I」において習得した基本的な知識や技能から、さらに専門的な美術技法や方法を知り実践する。
座学では美術の歴史をわかりやすく紹介するとともに、デッサンや油絵など個人では実践にくい専門的な実技を演習形式で取り組む。
近年では実技教育のほか鑑賞教育が重要視されていることから、鑑賞の基本的なルールや対峙型鑑賞など現代の鑑賞方法も学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

作品及びレポート(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を学生にフィードバックし、返却する。
成績について疑問のある学生は個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

図工工作非常勤講師として横浜国立大学教育学部人間科学部附属鎌倉小学校に年間勤務、初等教育機関での実務経験をともに子どもとの豊かな表現の育み方について伝えていきます。

各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をともに子どもとの豊かな表現の育み方について伝えていきます。

現代美術家としての表現活動、ギャラリートークや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をともに、美術の豊かな、人にも与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008601 デザイン基礎 3年コース 【ナンバリング：100015】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	安田 眞理子		

學習目標(到達目標)

デザインについての基礎的知識や技術を説明できる。
 幼児教育や子育てに関する知識、保育者の啓発的な伝達者としての役割を説明できる。

授業概要(教育目的)

パソコンを使い、イラストやポップを活用して、園だよりやポスターを作成することを通して、デザインについての基礎的知識や技術を学ぶ。また、幼児教育や子育てに関する知識、生活する上で必要な情報や子どもの様子を保護者に伝えるなど、保育者の啓発的な伝達者としての役割を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

出席と、授業中に課す実技課題により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

特になし 授業内で適宜紹介する

講義時使用テキスト

特になし 授業内で適宜紹介する

資格との関連

学生へのメッセージ

パソコンを使った簡単なデザインスキルは、どんな職種においても重要な技術です。実務の現場で必要となる科目であることを意識して、集中して取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013009600 幼児理解の理論と方法 【ナンバリング：203010】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	杉山 幸子		

學習目標(到達目標)

以下の3点を到達目標とする。

1. 学習の仕組みについて説明できる。
2. 子どもの学びのための環境を構成できる。
3. 発達の個人差を考慮した支援ができる。

授業概要(教育目的)

子どもは生活や遊びを通してさまざまなことを学んでいく。保育・幼児教育においては、保育者が環境となつて子どもたちの学びを支えてくれないといけない。この授業では、そうした子どもの学び(学習)の過程を理解し、それを支援する保育・教育実践についての理解を深めることを目標とする。また、学びを支援するためには、教育に関する理論・技能とともに、発達に関する知識が欠かせない。したがって、保育の実践へどうつなげることを意識して、発達や個人差に応じた援助の仕方についても理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、子どもの心情に寄り添う専門的態度を有する。保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学期末試験によって評価する。また、提出物の内容を平常点として参考にする。

課題に対するフィードバック

レスポンスカードへの回答を取りまとめ、次の授業でフィードバックする。また、定期試験の結果は個別に開示するので、希望する学生は研究室に来ること。特に、定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に必ず答案を確認してほしい。

参考文献

保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング(中央法規)

講義時使用テキスト

テキストは指定しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「覚える」よりも、「理解する」「考える」ことに力点があるので、主体的に学ぶ姿勢をもってほしい。また、グループワークを通して、自分の意見を述べ、他者の意見に耳を傾ける態度を養うことを期待する。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013009700 子どもの保健 【ナンバリング：202011】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	佐々木 真湖		

學習目標(到達目標)

- 1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を説明できる。
- 2.子どもの身体的な発育・発達と保健について説明できる。
- 3.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について説明できる。
- 4.子どもの疾病とその予防方法及び多職種間の連携・協働の下での適切な対応について説明できる。

授業概要(教育目的)

子どもの保健は、子どもの健康を守るだけではなく増進していくための活動が必要である。それは、正常な日常生活の中から生まれ、実践されているものである。すなわち、子どもの日常生活の発育・発達を学び、影響する栄養・生活・母子関係・環境・社会制度や施策などを学ぶ。そして、健康を逸脱した状態について学び、予防や早期発見に役立てる能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

レポートや定期試験で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については次回の講義時に代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

中根淳子・佐藤直子編著 「子どもの保健」 ななみ書房

資格との関連

実務との関連

看護師として、病院での小児病棟の実務経験があり、小児看護学を専門とし、病気や障がいを持つ子どもとその家族の健康増進に携わってきた経験をもとに講義を進める。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010100 乳児保育Ⅰ 【ナンバリング：202063】						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷および役割などについて説明することができる。
2. 保育所、乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について説明することができる。
3. 3歳未満児の保育・発達を踏まえた保育の内容及び運営体制について説明することができる。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより評価する。

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな/才郷眞弓/土屋 由/堀 科/著 乳児保育演
習ブック[第2版]ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

乳児保育の現状と課題についての理解を深め、保育現場における乳児やその保護者を取り巻く地域環境と連携する必要性や、3歳未満児の発育を促進する保育の役割について理解する。

課題に対するフィードバック

課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省/編 フレーベル館

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010200 乳児保育Ⅱ 2年コース 【ナンバリング：202027】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の育ち、発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について説明することができる。
2. 養護および教育の一性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法と体系性について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実践について、具体的な保育について述べる事ができる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科 著 乳児保育演習
ブック〔第2班〕ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達の特徴を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考えて、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省/編 フレーベル館

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010201 乳児保育Ⅱ 3年コース 【ナンバリング：202027】						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解することができる。
2. 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実践について、具体的な保育について述べることができる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を理解することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科 著 乳児保育演習
ブック〔第2班〕ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達の特性を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考えて、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010500 社会的養護Ⅱ 【ナンバリング：202030】					
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	こども教育学科			担当教員	大木 えりか	

学習目標 (到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護Ⅱ」（第2版） 吉田眞理 編著 萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要 (教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。
この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考をアウトプットすることで、ブラッシュアップしていく。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。
試験（レポート、小テスト）の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。
また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達 の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リーピングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010501 社会的養護Ⅱ Bクラス 【ナンバリング：202030】					
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	こども教育学科			担当教員		2

学習目標 (到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護Ⅱ」（第2版） 吉田眞理 編著 萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要 (教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。
この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考をアウトプットすることで、ブラッシュアップしていく。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。
試験（レポート、小テスト）の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。
また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達 の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リーピングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010800 地域文化論						
年度	2026	開講時期	後期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	澤井 睦美		

學習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史とその特性を説明できる
2. 八戸を中心とする南部地域の文化とその特性を説明できる
3. 八戸を中心とする南部地域の自然とその特性を説明できる
4. 八戸を中心とする地域社会の現状と課題を説明できる

授業概要(教育目的)

本書のディプロマ・ポリシーには「郷土を愛する心」や「地域社会に貢献」の文言が含まれる。保育や介護の専門性を身に付け、豊かな地域社会の創造に携わる人材を育成すること为本学の大きな目的であり、そのためには地域の歴史、自然、文化、産業等について知ることが不可欠である。本講義では、こうした地域に関する知識を多領域にわたって広げ学ぶこと、また複眼的な視点からその特性を知り理解を深めていくことをねらいとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を愛し、郷土を愛する心を有し、豊かな教養と人間性を身につけている。
健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

出席状況、レポート・感想文等の提出物によって合・否で評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題(レポート、感想文)について、次時授業でいくつか紹介しながらフィードバックする。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

適宜、資料を配布する。

資格との関連

実務との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域が有する自然や文化や特徴について理解し、こどもに説明できる(幼児保育学科)。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013011100 日本語表現						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

国語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、保育者として求められる国語力を身に付ける。

1 国語の基礎的知識を活用して、保育者として求められる適切な表現を行うことができる。

2 さまざまな文章に触れて思考力と言語感覚を磨き、自分の考えを適切に表現することができる。

3「話す・聞く」「書く」ことそれぞれにバランスよく、表現することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基礎となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験および課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

講義時使用テキスト

『保育者をめざす人のためのことばの表現 話す・聞く・書く』(篠原京子・増田 泉、建帛社)

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

「話す・聞く」、「書く」それぞれの分野について、新聞、図書等、新しい資料や教材を用いて講義を進め、自分の考えを文章や言葉で表現する機会を多く設ける。毎時間、講義に加えてグループワークやディスカッション等を行う。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『レポートの筋トレ』(中川祐香 藤浦五月 国書刊行会)

学生へのメッセージ

保育者を指すみなさんにとって、「話す・聞く」「書く」という国語に関わる表現は、大変重要な技術です。毎時間の授業で繰り返し練習や演習を行うことで、日常的に自然に使える技術になりますので、ぜひ積極的に取り組んでください。第2回の授業から、前時の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習して臨んでください。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013011300 保育の文章表現Ⅰ						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

保育者として求められる文章力や表現力を身につける。

1 保育の基本用語を理解して、保育の現場における基本的な文章を作成することができる。

2 自分の考えを適切に伝える文章を作成することができる。

授業概要(教育目的)

実習に向けて、保育の基本用語を理解して正確に書くことができるようにするとともに、保育者としての考えを文章化したり、保育現場で必要とされる基本的な文章を作成する演習によって、文章力を高める。
国語力テスト(テキスト『保育の基本用語』(わかば社))の自学自習を通して、保育現場に必要な漢字の実践力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

授業内で実施する国語力テストの結果および課題(レポート・作文)の提出と授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、作文)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『保育者をめざす人のためのことばの表現—話す・聞く・書く—』(篠原京子・増田 泉 建帛社)

講義時使用テキスト

『これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語』
(長島和代編 わかば社)

資格との関連

学生へのメッセージ

保育実習においては、実習日誌を適切に記載することが評価項目の一つになっています。また、保育現場においては、コミュニケーションを円滑にする保育者の重要な資質として文章力が求められることもあります。

「わかりやすく伝える」「伝わる表現力」を身に付けるために、主体的に授業に取り組んでください。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013011400 保育の文章表現Ⅱ						
年度	2026	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

実習に向けて、保育の基本用語を理解し、正確に書くことができるようにするとともに、読みやすい文章を書けるようにする。

- ①漢字を適切に使い、文章で表現することができるようになる。
- ②文章を書くことに慣れる。
- ③丁寧に読みやすく書くことができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

国語力テストの結果、および受講態度や課題への取り組み状況などを総合的に評価する。

講義時使用テキスト

『これだけは知っておきたい わかる・かける・使える 保育の基本用語』
(長島和代編 わかば社)

資格との関連

実務との関連

高等学校において国語教育に携わってきた教員により、国語の基礎的な理解と、それを実践する力を養う。特に保育実践においては、幼稚園教諭経験者からも具体的な使用場面の想定を行なって演習を立案し、より意欲的に課題に取り組めるようにする。

授業概要(教育目的)

保育の基本用語を理解し、実習日誌や指導案を作成する表現力を養う。文章を正確に記述できるよう漢字の書き取りなどの基本的な事項から、参考文献の書写やビデオ視聴等をもとにした模擬的な実習日誌の作成など保育の文章表現における実践的な表現力と構成力を身に着ける。

課題に対するフィードバック

国語力テストや書写などは、評価したものを学生に返す際に個別にフィードバックする。講義内容については、演習課題などの評価について全体で共有したり、必要に応じて個別にフィードバックしたりする。

参考文献

学生へのメッセージ

国語力テストで確認する保育用語は、将来の保育者として身に付けておきたい基本です。予習を欠かさずに、テストに臨んでください。各自の保育実習ⅠA・ⅠBの日誌を振り返り、より適切な表現ができるように演習によって文章力を高める授業です。みなさんの積極的な取り組みを期待します。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012400 保育内容「言葉」の指導法						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

- ・子どもが言葉を獲得していく過程や発達の手筋をとらえ理解を深める。
- ・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
- ・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

- ・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
- ・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂 保育内容指導法「言葉」(田上貞一郎・高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012401 保育内容「言葉」の指導法 Bクラス						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

- ・子どもが言葉を獲得していく過程や発達のだん筋をとらえ理解を深める。
- ・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
- ・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

- ・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
- ・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂 保育内容指導法「言葉」(田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

学生へのメッセージ

日常生活における会話や情報の「言葉」がどのように使われているかに、普段から注意を向けてほしい。また、保育の現場や実習に直結する演習や制作が多いので、積極的に授業に臨んでほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012500 保育内容「造形表現」の指導法						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。

①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。

②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。

③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価、出席等)

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭一種免許狀 必修科目

保育士資格 必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012501 保育内容「造形表現」の指導法 Aクラス						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	安田 眞理子		

學習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。

①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。

②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。

③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価、出席等)

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許狀 必修科目

保育士資格 必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012700 特別支援の理解 2年コース						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、障害のとりえ方、各障害の特性、障害児への支援方法について理解する。そして、保護者や家族への支援方法や家族や関係機関との連携・協働のあり方について理解する。

- ・障害の特性と障害児への支援方法について説明できる。
- ・保護者や家族への支援方法について説明できる。
- ・家庭や関係機関との連携・協働の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

障害児保育の理念、障害の特性、障害児や家族への支援方法について概説する。また、家庭や関係機関との連携・協働のあり方と障害児保育の現状と課題について語る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 障害児保育(萌文書林)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

障害について理解していきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012900 絵本と紙芝居の世界						
年度	2026	開講時期	後期前半	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	こども教育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

1. 伝承のお話を子どもに伝えることができる。
2. 子どもの年齢、発達に応じた絵本の読み聞かせができる。
3. 自分の名前絵本を製作し、自己紹介ができる。
4. 絵本の読み聞かせのプログラム作りや手法を学ぶ。

授業概要(教育目的)

1. 子どもの感性、創造力を育てる「読み聞かせ」や「お話」をするために伝承の文学の成り立ちを知り、物語を読み、確認する。また、テキストで紹介された長く読まれている絵本や、新刊の話題作など、多くの絵本に触れる。
2. 実習で使用する、自己紹介の自分だけの絵本を作る。
3. 年齢にあった、読み聞かせのプログラムを作る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

提出課題・演習の総合点で評価する。

課題に対するフィードバック

課題(制作絵本、計画書)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 三宅興子・多田昌美「児童文学12の扉を開く」(翰林書房)
2. 中村衿子「絵本は友達」(福音館)
3. 松居 直「絵本とは何か」(日本デューケーターズスクール 出版部)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

子ども達に読み聞かせを楽しんでもらうため、また自分が読み聞かせを通してたくさんの絵本に触れ、絵本の魅力を知り、読み聞かせのスペシャリストを目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013300 ピアノⅢ 2年コースAクラス						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらずに最後まで演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぶ(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
共著 ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

保育士のための こどものうた名曲集150 (シンコーミュージック スコア編集部)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。
先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013301 ピアノⅢ 2年コースBクラス						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらずに最後までに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぶ(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
共著 ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

保育士のための こどものうた名曲集150 (シンコーミュージック スコア編集部)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。
先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013400 ピアノⅣ 2年コースBクラス						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分		対象年次	2
対象学科	こども教育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

5才〜7才・ついでに幼稚園(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
 行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
 共著 トレミ楽譜出版社
 バイエル
 ブルクミュラー25の練習曲
 ユーゼン100番練習曲
 ユーゼン30番練習曲
 ソナチネ、ソナタ、シュベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートー
 ヴェン、その他。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

授業計画表

[illegible]

